

3 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和4年3月10日（木）
- 2 開 催 場 所 青少年女性センター 4階 大会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、廣岡委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 織田教育総務部長、神吉教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
桐山教育指導部学校教育担当参事、
岸田教育総務課長、小川学務課長、梅野社会教育課長、
尾崎学校教育課長、今津青少年育成課長、
加藤教育研究所長、河村文化財調査研究センター所長、
長谷川少年自然の家所長、中塚中央図書館長、
中川教育総務課副課長、岡本教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後2時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
土屋委員に決定
 - 2月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
すべての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 令和3年度3月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：会計年度任用職員に要する職員給与費（教育総務課）の減額補正の理由について教えてもらいたい。

事務局：正規職員等の途中退職による欠員を補充できなかったこと等に伴う減額である。

教育長：GIGAスクール運営事業で使用開始が令和3年9月になった理由を説明願いたい。

事務局：BWAの通信状況に問題があり、円滑な運用ができなかった期間について、協議のうえ使用期間に含めないこととしたためである。

2 令和4年度当初予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：令和2年度と令和3年度の保健体育費が増加している理由を教えてください。

事務局：保健体育費に学校給食費が含まれており、日岡山学校給食センターと神野台学校給食センターの建設費が含まれているためである。

委員：人件費やハード面での予算が比重を占めていることもあり、なかなか新規事業が組みにくい状況にあると思う。今回新たにメンタルサポート事業でモデル校を選定し、メンタルサポーターを小学校に配置するとある。今後、中学校のような全校配置の必要性や実現性を十分に検討してもらいたい。また、引き続きソフト面での加古川市らしさを予算化できるように頑張ってもらいたい。

事務局：小学校児童の不登校が増え、コロナ禍によるゲームやネット依存が原因である場合も見受けられる。中学校での事業実施の経験を生かしながら、小学校のモデル校にて求められる役割や状況を分析しながら、計画的な配置や活用方法を検討していきたい。

委員：英語活動支援事業に外部検定試験とあるがどのようなものか。

事務局：生徒個人の結果は生徒に返されるものであるが、学校ごと、学年ごとの分析や加古川市としての傾向がフィードバックされ、教育活動に取り入れることを目的としているため、予算化したものである。

委員：ALT派遣については、今後も継続的に実施してほしい事業であるが、来年度の事業実施内容について教えてほしい。

事務局：今年度23名配置しているALTが来年度は15名配置となり、派遣回数が増える見込みである。しかしながら、オンライン英会話において1グループの人数を減らし、英語で会話する機会を増やすといった運用を見直すことで質の高い内容となるようにしていきたい。

委員：小中一貫校建設事業において、事業費と継続費が異なるのはなぜか。

事務局：継続費は工事にかかる費用となっており、事業費は工事以外の費用も含む事業全体の費用となっている。

教育長：小中一貫校建設事業にて継続費が令和6年度に予算計上されている理由を説明してほしい。

事務局：現両荘公民館の撤去について、工事による騒音等を考慮し、令和6年夏頃に工事予定としたためである。

教育長：小学校運営管理事業及び中学校運営管理事業の屋内運動場証明設備賃借に係る債務負担行為について、説明してほしい。

事務局：屋内運動場の照明機器の老朽化が進んでおり、予算の平準化や安定的な機器の調達を目的とし、債務負担行為を設定している。今後すべての小中学校について、LED化を予定しているが、今回は加古川小学校外11校、加古川中学校外4校における令和12年度までの契約としている。

3 「教育アクションプラン 2022」の策定について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：アクションプランはかこがわ教育ビジョンに基づき、毎年、策定している。昨年度との変更点や当該年度の4年間における位置づけ、また最重要取組事項の中でも特に力を入れる内容など具体的に示してはどうか。

事務局：年次計画として連続的な取組を図示するなど工夫しながら分かりやすいものとなるように改善していきたい。

委員：最重要取組事項として、不登校児童生徒への支援の充実と多様な教育機会の確保が挙げられているが、同様に相談体制の充実も重要であると考え。また、学校給食の項目では、安全な食材の調達だけでなく、設備面や調理工程等を含めた安全に関する記載があってもよいのではないか。教員の資質向上の項目では、教員同士の切磋琢磨という視点も必要ではないかと考える。

教育長：いただいた意見について検討し、可能なものは修正したい。なお、修正内容については、一任いただき、原案可決としてよろしいか。

各委員：（異議なし）

4 学校運営協議会の設置について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

5 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の改訂について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

教育長 : 適応指導教室等における教育機会の拡充及びスクールサポートチームの体制強化の内容について、詳しく説明してもらいたい。

事務局 : 適応指導教室については、これまで1つの教室にて実施してきたが、令和2年度、令和3年度において、通学する児童生徒が50人を超えるようになり、教室が手狭な状況であり、また、大きな集団になじまない子どもたちもいることから、教室を分割し対応する教員等を増員する予定である。

スクールサポートチームの体制強化については、構成している5名の専門職のうち、各中学校区に配置されているスクールソーシャルワーカーを統括支援している学校支援ソーシャルワーカーについて、勤務日数を増やすことで、よりきめ細やかな支援を目的としている。

教育長 : 今年度の不登校の状況について確認したい。

事務局 : 令和2年度は小学校の不登校児童が105名、中学校の不登校生徒が333名であった。今年度については、12月末時点であるが、小学校の不登校児童が147名、中学校の不登校生徒が386名と昨年度同時期と比較しても大幅に増加している状況である。

6 令和4年度 加古川市立学校教職員研究・研修計画について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

委員 : 研修が希望者多数の場合は対応可能なのか。

事務局 : 研修の参加人数については、例年の傾向から見込数を推測し会場を選定している。万が一、見込より希望者多数となった場合は会場を変更し、希望者全員が参加できるよう対応している。また、今年度からオンラインでの参加も可能となっている。

委員 : 加古川教師塾の参加者はどれくらいなのか。

事務局 : 例年7回実施していたが、今年度はコロナ禍の影響により3回の実施となった。参加者数については、内容によってニーズが異なるが、例年多い場合は60名程度、少ない場合は12名程度である。

7 加古川市指定有形文化財の指定について

(教育指導部次長から説明)

原案可決

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

4月7日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和4年第1回市議会(定例会)における代表質問について

3月3日(木)に実施された市議会における代表質問について報告をした。

(2) 令和4年第1回市議会(定例会)における一般質問について

3月4日(金)、3月7日(月)に実施された市議会における一般質問について報告をした。

(3) 令和4年第2回市議会(定例会)日程(案)について

5月17日(火)から24日(火)に開催される。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 就学援助(入学準備金)の申請受付について

就学援助の申請受付を1月下旬から令和4年2月15日(火)まで行い、受付件数は、小学生204人、中学生219人、計423人だった。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 令和3年度加古川市社会教育・福祉教育推進員全市研修会の開催報告について

令和4年2月6日(日)に、令和3年度加古川市社会教育・福祉教育推進員全市研修会を開催した。

(2) 第45回全日本アンサンブルコンテスト出場激励会の開催について

中部中学校吹奏楽部が、関西アンサンブルコンテストにおいて金賞を受賞し、関西代表として全日本アンサンブルコンテストに出場する。また、激励会を3月8日(火)に開催した。

(3) 第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催の報告について

令和4年2月14日(月)にウェビナー形式で開催した第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会について報告した。

(4) 教職員の業務改善について

更なる教職員の業務負担軽減に向けて、令和4年度に取り組む事項について報告した。

委員： 計画的な学校訪問は廃止するとのことだが、教育委員が教職員とは異なる視点で指摘するような機会も必要であると考え。可能な限り学校園を訪問する機会の確保について検討いただきたい。

以上、4件について報告

○ 閉 会 午後4時10分